

Lilycolor

2025年第2四半期
決算説明資料

リリカラ株式会社

業績のご報告



2025年12月期第2四半期（前年比較） P/L

Lilycolor

2024年12月期

2025年12月期

8月8日付
（百万円）

	1Q	2Q	上期合計	3Q	4Q	下期合計	通期合計
売上高	8,427	8,290	16,716	8,632	8,454	17,086	33,803
売上総利益	2,700	2,494	5,193	2,364	2,662	5,027	10,220
	32%	30%	31%	27%	31%	29%	30%
販管費	2,402	2,976	5,378	2,433	2,186	4,619	9,997
営業利益	297	-482	-185	-68.9	476	407	222.8
	4%	-6%	-1%	-1%	6%	2%	0%
当期純利益	163	-369	-205.7	-68	384.9	316.9	111

	1Q	2Q	上期合計	前回予測	通期予測
売上高	7,849	7,515	15,365	17,700	36,800
売上総利益	2,616	2,633	5,249		
	33%	35%	34%		
販管費	2,535	2,893	5,427		
営業利益	82	-259	-177	130	1,000
	1%	-3%	-1%		
当期純利益	27	-173	-146	70	450

- ・売上は当初計画と比べ苦戦した結果となり、上期の業績修正を発表
- ・値上げ効果により売上総利益は前年より改善
- ・リカバリーが見込めるため通期の営業利益・当期純利益見通しは変更なし
- ・配当方針も維持

※2024年12月期の販管費・営業利益は、昨対比較のため
商品見本帳に係る会計処理変更の遡及修正後の数字

事業のご報告：インテリア事業

Lilycolor

上期概要：

- ・ 2024年12月より価格改定
- ・ 課題点の整理と対策を実施し、シェアは下げ止まった
- ・ 営業利益は1Qの未達成を取り返すとはいかなかったが2Q単体では、ほぼ計画通り

上期売上：昨対103% (11,953→12,361百万円)

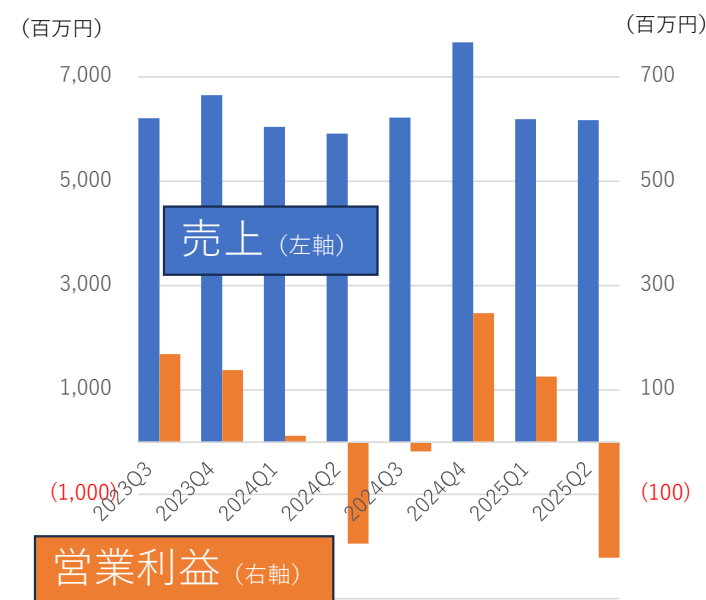
上期営業利益：前年比較+86百万円 (▲182→▲97百万円)
※新会計方針基準では+259百万円



通期見通し：

- ・ シェア回復など取り組んだ施策は一定の成果あり
- ・ 経費削減に取り組み強化
- ・ もともと下期偏重型の計画で、リカバリー可能

インテリア事業
売上、営業利益の四半期推移



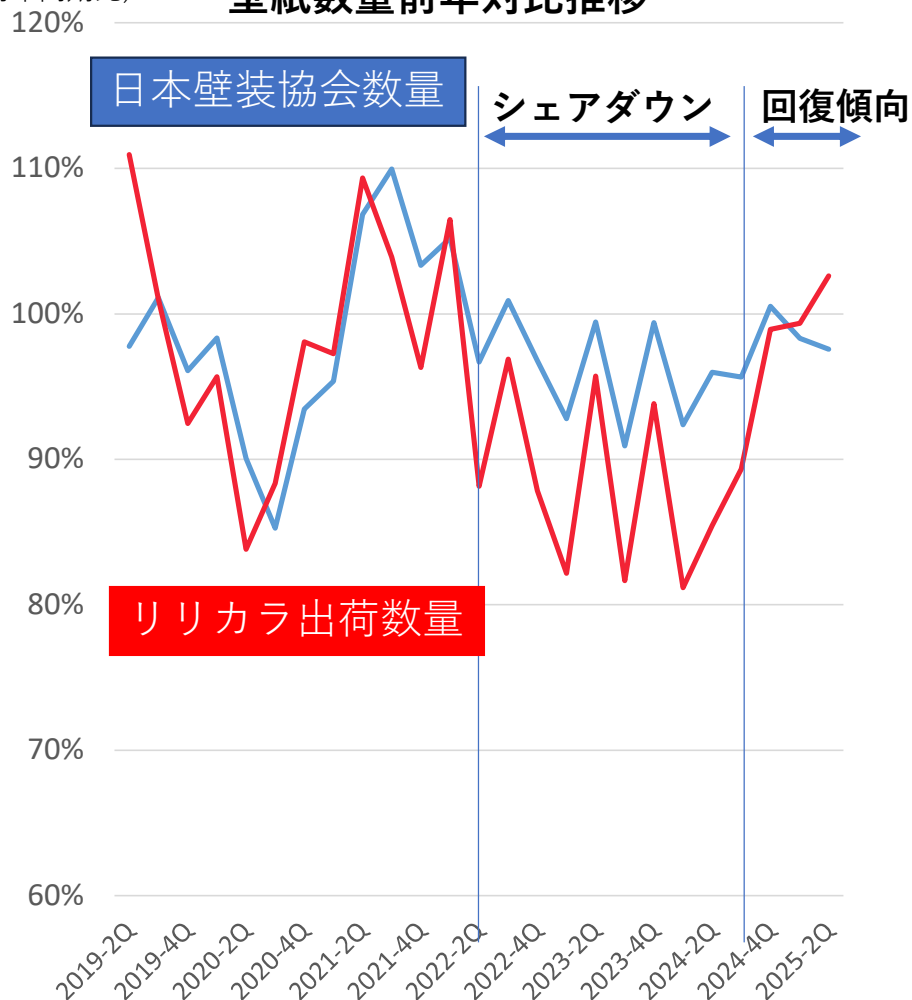
※2024年以前は会計方針変更前実績

事業のご報告：インテリア事業

Lilycolor

(前年同期比)

壁紙数量前年対比推移



- ・ 2022年頃よりシェアダウン
- ・ 2024年下期よりシェア回復に取り組んだ結果、シェアは回復傾向

事業のご報告：スペースソリューション事業

Lilycolor

上期概要：

昨年は大型物件の獲得により売上増・工事損失で収益悪化となった。
下期より管理体制変更などにリソースを取られたことなどの影響で
2025年1Qは赤字となったが2Qで回復傾向



通期見込み：

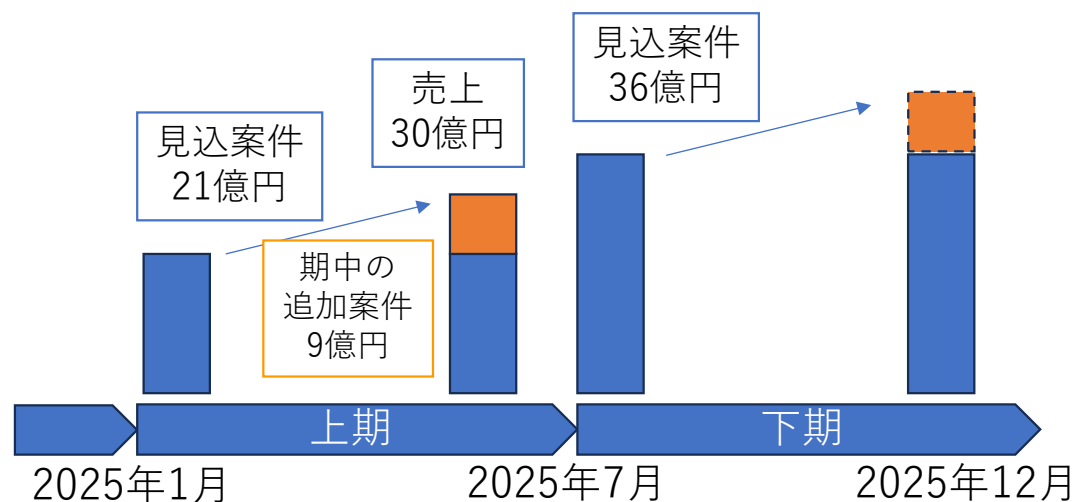
管理体制の不備是正は完了
2025年通期は期初計画通りの収益を目指す
市場は依然として好調との認識

スペースソリューション事業
売上、営業利益の四半期推移



2025年1月時点での 上期施工の見込み案件：21億円
→ 上期実績：30億円（上期中の追加案件を含む）

2025年7月時点での 下期施工の見込み案件：36億円を獲得済み



下期は、計画通りに目標達成可能の見込み
粗利率の改善、経費見直しなどの効果もあり
通期粗利目標は達成を見込む

事業のご報告：不動産投資開発事業

Lilycolor

2024年から開始した不動産投資開発事業

- ・開発案件（第1号案件）
→契約完了、4Qに売却の見込み
- ・開発案件（第2号案件、2026年秋に完成見込み）
→売却先内定、2026年秋に一棟売却の見込み
- ・バリューアッド案件（江戸川区）
→販売活動中



第3号開発案件に向け活動開始
実績を重ねることで、事業の柱となる見込み

マンションシリーズ名：
LILYFORT（商標登録申請中）



第1号開発案件
（板橋区）



第2号開発案件
（墨田区）

まだ誰も気づいていない空間の魅力で、
人の心を彩り続ける。



お問い合わせ先

リリカラ株式会社 経営企画室
電話 03-3366-7845
ly.ir.business@lilycolor.co.jp

リリカラ株式会社